

緑の風 NEWS

JR東労組



JR東労組ホームページ

East Japan Railway Workers' Union 2023年2月5日 No.105

自殺を考えるまで追い込む懲罰的日勤教育を
「適正な指導の範囲」と回答した

JR東日本横浜支社

次は

団体交渉の発言に対する

報復か

現在、横浜支社国府津運輸区で懲罰的日勤教育が行われている問題の是正を求めて、横浜地本は「懲罰的日勤教育を直ちにやめ、ヒューマンファクターの観点による原因究明に基づき早期の乗務復帰を求める緊急申し入れ」を行い、1月31日に第1回交渉を行いました。

その団体交渉の中で、当該運転士を自殺を考えるまでに追い込んだ1月16日までの日勤教育（「アピールのための時間外の除菌活動」や「事故・事象とは関係のない社員・社会人のマインド教育という名のハラスメント行為」と「日勤教育で学んだことをまとめたパワーポイント作成」など）を巡り、以下のやりとりが行われました。

横浜地本の主な主張

横浜支社の主な主張

12/ 5～ 事象発生

12/ 8～ 事象の掘り下げ

12/10～ マインド教育

*自殺を考えるまで追い込む

12/29～ 日勤教育をまとめたパワーポイント作成

1/16 パワーポイント発表

1/17～ 実車・シュミレーター訓練

1/31 団体交渉

2/ 3～ マインド教育の再開

*病欠に追い込む

国府津運輸区で
行われた日勤教育

社員としてのマインドがないと乗務復帰できないとか、アピールしないと乗務復帰できないという事か。

運転士としての今回の事象とJR東日本の社員、社員としての前に企業人、社会人としてのしっかりとしたマインドを目指しながら乗務復帰を目指していくという方針。ご理解いただいた上で今日に至っている。

理解に至っていない。

至っていないんですか。本人も納得していると区長から報告を頂いている。

だとしたら認識が全然違う。1月16日まで必要のない日勤が続けられた。その判断は間違っている。

間違っていないからやっている。今でも間違っていないからやっている。

1月16日まで何が得られたのか。

パソコンを使って自分の考え方をまとめて、一所懸命発表してくれたと聞いている。今回の場合はそこから振り返って頂きたかった。それがなかったと言っていたが、区長が認識していることと違う。

違うというのは？

本人が理解してくれたという事。必要のない日勤と言われたので、そういう意味では腹落ちされていないという事になる。区長が認識した内容と乖離があるという事であれば、もう一度その辺は是正必要があるのではないかと考えている。

自殺を考えるまで追い込む日勤教育の再開で、次は病欠!!

1月17日、指導員が「元のカリキュラムに戻す」と述べた以降、当該運転士は乗務復帰へ向けて、実車訓練やシュミレーター訓練を行っていましたが、交渉後の2月3日の午後から、作成したパワーポイントを掘り下げる形で、「事故・事象とは関係のない社員・社会人のマインド教育」が再び始まりました。当該運転士は、ハラスメント行為を行った区長や管理者のいる内勤室での業務を命じられ、勤務に心身が耐え切れなくなり、体調不良で急遽年休を取りました。その翌日、病院に行ったところストレスを原因として10日間前後の休業加療が必要と診断されました。これが、会社のいう「適正な指導の範囲」なのでしょうか！

1月17日から運転技術に関する教育・訓練をしている中、何故当該運転士に自殺まで考えさせた「事故・事象とは関係のない社員・社会人のマインド教育」に戻したのでしょうか。この理由が、会社の意に沿わない団体交渉での発言であるならばそれは「報復」でしかありません。

異常な経営体質の是正を求める為、JR東労組へ結集しよう!